

5月20日(水)、本誌 第7回 優秀論文賞・優秀編集賞の表彰式をオンライン形式にて行いました。表彰式では、このたび優秀論文賞を受賞されました徳丸阿耶先生、子安 翔先生、優秀編集賞を受賞されました堀内大右先生へ、『臨床画像』アワード選考委員会より記念盾を贈呈させていただきました。

『臨床画像』優秀論文賞

「認知症の初回検査において特徴的な画像所見から鑑別必須の疾患」

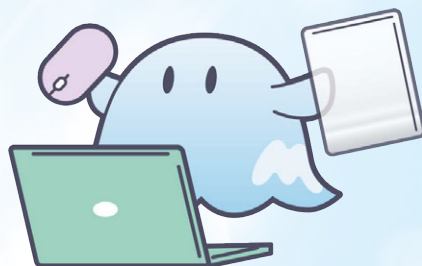
東京都健康長寿医療センター放射線診断科 徳丸阿耶 先生

[2025年1月号(vol.41・No.1)特集「この一冊でマスターする 認知症の画像診断」に掲載]

心からの御礼

『臨床画像』アワード2025の優秀論文賞にお選びいただき、望外のことと恐縮いたしております。編集主幹の栗井和夫先生はじめ編集委員の皆様、メジカルビュー社臨床画像編集部の皆様に、深く御礼申し上げます。日常の画像診断に直結する話題を毎号取り上げていただき、また「画像所見」を著者の先生方とオンタイムで共有できるかのような紙面構成を作り上げてくださっていることに、あらためて感謝を申し上げたい思いであります。認知症の画像は多種多様で、いまだに五里霧中です。その迷いも含めて、若い先生方と共有していければと思っております。

御礼まで。



『臨床画像』優秀論文賞

「【頭頸部癌病期診断】中咽頭癌」

京都大学医学部附属病院放射線部 子安 翔 先生

[2025年9月号(vol.41・No.9) 特集「読影のお作法 連続画像スライスで追う頭頸部疾患の診断」に掲載]

お世話になった皆様に感謝申し上げます

このたびは榮譽ある賞を賜り、栗井和夫先生はじめ、選考委員の先生方に心より御礼申し上げます。本稿は、2025年に尾尻博也先生から中咽頭癌に関する講演の機会をいただいたことを契機に、久野博文先生より企画を頂戴したものです。頭頸部領域の中でもとりわけ解剖が複雑な中咽頭について、臨床と教育の双方に資する内容とするため、自施設のMRI撮像プロトコルを改めて見直すこととしました。その結果、診療放射線技師の板垣孝治さんのご尽力により画質は大きく向上し、さらに頭頸部外科の先生方からのご助言、そして当時専攻医であった塚元鈴音先生による丁寧なアノテーションを通じて、私自身にとっても成長する機会となりました。施設内外問わず多くの方々のお力添えがあってその質が高まった作品であり、ややマイナーな内容にもかかわらずこのような評価をいただけたことを大変光榮に存じます。今回の受賞を励みに、引き続き臨床と教育に邁進して参る所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



『臨床画像』優秀編集賞

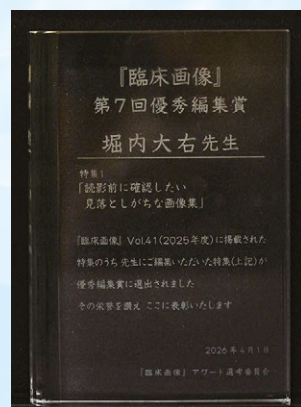
特集「読影前に確認したい見落としがちな画像集」

大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 堀内大右 先生

[2025年4月号(vol.41・No.4)]

アワード受賞にあたって

このたびは『臨床画像』第7回優秀編集賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。本企画が読者の先生方の日常診療の一助となる内容としてご評価いただけたのであれば、大変光榮に存じます。ご多忙にもかかわらず、快くご執筆をお引き受けくださり、素晴らしい原稿をお寄せくださった先生方に、心より感謝申し上げます。最後に、本企画を担当する貴重な機会を与えてくださいました大阪公立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 三木幸雄名誉教授、宮崎大学医学部病態解析医学講座 放射線医学分野 東美菜子教授、ならびに編集にご尽力くださいました編集部の皆様に、厚く御礼申し上げます。



2026年度も、1年間に本誌に掲載された優秀な論文および特集を表彰するアワードを予定いたしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。